

令和2年度 レジ袋ゼロ推進懇話会 会議概要

会議の名称	令和2年度レジ袋ゼロ推進懇話会
会議の日時	令和2年11月4日(水) 10:00~11:00
会議の場所	三田市役所 本庁舎 4階 401会議室
出席者	出席者9名(市民団体:5名 協定締結事業者:3事業者4名) 市民団体: 三田市消費者協会会長 石出 正子 三田市老人連合会副会長 平井 洋子 兵庫六甲 JA 三田女性会副会長 今西 栄美子 三田市商工会 磯嶋 花帆 三田市商店連合会会長 市野 雅一 協定締結事業者: 生活協同組合コープこうべ 松井 清武 兵庫六甲農業協同組合三田営農総合センター 販売チームリーダー 中井 大介 株式会社万代チーフ 朝比奈 宏一・渡邊 浩之 【事務局】まちの再生部 環境推進室長 川田 達久 環境創造課長 辻下 進一、環境創造課長補佐 辰巳 武人 環境創造課主任 寺嶋 晶子、環境創造課事務職員 名護 佳朗

1. 開 会

(1)石出会長あいさつ

新型コロナウイルスでさまざまなイベントが自粛されている中での会議ですが、皆さまの元気な顔が拝見できてうれしく思います。また、コロナによりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りします。今回のコロナの影響で、世界中で外出規制や交通規制により空気の質が改善され、インド北部で数十年ぶりにヒマラヤを眺めることができた、北京で青空が広がり子供達が笑っているなど、一時的とはいえ地球環境の改善と見られる現象がおきたことは、私たちの消費者生活を見直す機会をコロナが与えてくれたのではないかと思います。

この会が始まってから10年以上たちました。7月には国でレジ袋の有料化もはじまりました。参加されたみなさんの素晴らしい活動や報告を期待しています。限られた時間ではありますが、皆さまの思いのたけを話して頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

(2)出席者紹介

2. 議 事

(1)令和元年度のレジ袋削減実績報告

(事務局)「令和元年度レジ袋削減実績」【資料1】について説明

- 会 長 事務局からの実績報告に対してご質問やご不明な点、または、参加されている皆さまの報告事項をお願いします。
- 出 席 者 有料のレジ袋を大・中・小の3パターン用意している。レジ袋だけでなく、資源節約もかねて紙袋も有料化している。有料袋を使う人が減り、7月の辞退率が92.3%になった。前倒しで6月から有料化しているが、6月の辞退率は低かった。法制化になることでレジ袋に対する関心があがったのだと思う。7月以降も92%を推移しており、法制化による影響は出ている。中には「レジ袋を削減しても数%の原油削減にしかないのではないか」というご意見もあるが、「生活の見直しをみなさんでしていこう」と声をかけて進めていっている。
- 会 長 「生活の見直しをみなさんでしていこう」と声をかけているのは素晴らしいと思う。
- 出 席 者 正確な数値は出していないが、昨年と比べてレジ袋の利用が大幅に減っている。個人の活動としては、いつでも対応できるように車の中や通勤カバンの中など色々なところにエコバッグを携帯している。
- 会 長 兵庫六甲さんの店舗に行くと、レジ袋が出せない状況の中、花などの販売もしているため分かりやすい所に新聞紙やダンボールを置くなど売り場にも工夫されていると感じている。
- 出 席 者 6月からオリジナルエコバッグを販売しており、三田店では6～7月で1,200個ほど売れている。また、マイバスケットの販売にも力を入れており200個以上売り上げている。レジ袋辞退率はもともと90%以上あったが、7月は95%、8月は91%、9月は92%と高い水準を保っている。三田店の辞退率はトップクラスであり、マイバッグへの意識が非常に高い地域と感じている。引き継ぎ、マイバッグ、マイバスケットの販売には力を入れていこうと思う。
- 会 長 万代さんは大阪支流のスーパーなのに三田での懇話会に参加して、ともに環境問題に取り組んでいただいているのに感謝している。
- 出 席 者 商店連合会としては、特に何かしている訳ではない。7月以降は、レジ袋を有料にして、「次に買い物に来る時は、この袋持って来て」と声かけしている店舗もあると聞いている。商店の場合は高齢の経営者が多く昔ながらの近所づきあいも兼ねており、スーパーとは立ち位置が少し異なる部分もあるということを理解してほしい。
- 会 長 商店の場合は、地域的なからみや昔からの人間関係があるとレジ袋有料と言いつらい部分は理解できる。また、全国展開しているチェーン店に行くと、環境に優しいレジ袋を利用して無料化したり、いずれは有料にすると

いう啓発のもと、紙袋をレジの近くに置いて、自由に使えるようにしたりと色々な店舗で工夫しているのが見られる。

出席者 主婦目線で言うと、マイバッグも持って買い物に行くのでレジ袋を買うことはない。ただ、買い物に行くと過剰包装が目につくので、過剰包装の対策にも取り組んでいけたら良いのではないかと思う。

会長 最近の大型スーパーでは、トレイのない生鮮品も見られるようになった。過剰包装の問題は、貴重な意見だと思う。

出席者 商工会では「さんだお弁当マルシェ」を開催している。お弁当のサイズにあった買い物袋を持参していない場合があるので、バイオマス燃料のレジ袋を準備している。

会長 環境問題の活動は、できることをこつこつ続けていくことが大事である。国が定めたからレジ袋削減・マイバッグ持参の運動をやめるのではなく、今後もこの活動を続けていく必要がある。三田市消費者協会の活動も、コロナで自粛していたが、9月26日に家庭用品再生修理事業を実施し、どこの家にもある使用していない手拭いでエコバッグの作りを企画した。その他にも着物をほどいてエコバッグを作成するなど、新たに買うのではなく、家にある使用していない物を色々工夫して利用するなど今までの「無ければ新しいのを買う」という生活様式を見直す機会をコロナが与えてくれたのだと思う。

(2) 取り組み内容の報告

(事務局) 「取り組み内容(R2.1 から R2.11)」【資料2】について説明
質疑応答なし

(3) 今後の取組み案

(事務局) 「今後の取組み案」【資料3】について説明

事務局 今後の懇話会のすすめ方に関しては、昨年度の懇話会でも今年7月のレジ袋有料化後もレジ袋に特化して活動していくのか、レジ袋以外にも活動の幅を広げるのかと意見がでたが、改めてレジ袋に特化していくのか、先ほど意見にも出た過剰包装の問題などレジ袋以外にも範囲を広げるのか協議してもらえればと思う。協定内容の見直しに関しては、事務局でも各協定書を点検してみたが、疑義はないと思われるので、結び直しの必要はないと思っている。

会長 有料化になったのでやめるのではなく、家にあるレジ袋はどうするのかなどまだまだやっていけないことはたくさんある。懇話会のすすめ方として、レジ袋以外のプラスチックゴミまで広げてしまったら取組みがどこまですれば良いのか分からない。当面はレジ袋に特化して様子を見守っていこうと思っている。

出席者 ガーデンショーでのキャンペーンは、有料化されたので市民の皆さんも買い物にはレジ袋を持って行かないといけないという意識が高まったのでやめてもよいのではと思う。マイバッグは大きくかさばるので、マイバッグをたためて小さくできる入れ物などの作り方などを広めていければ良いのではないかと考えている。

会長 昨年のガーデンショーではマスクホルダーを配布した。昨年のガーデンショーの頃は、コロナ禍でここまでマスクが必要になると思っていなかったのでおどろいている。感覚を研ぎ澄ましているから直感的にひらめいたのではないか。受け取ったみなさんも重宝していると思う。イベントを一度、無くしてしまうと予算もなくなってしまう。次に何か啓発イベントを行うとなった場合、もう一度予算から検討していくということになるのではないか。

事務局 ガーデンショーで配布している啓発グッズは、取組み内容でも説明のあった基金を使っている。基金が無くなったらこの事業が終わりという訳ではないが、折りたためるエコバッグなど、今後も皆さんの意見を聞きながら啓発グッズを提案していこうと思う

会長 マイバッグキャンペーンで配布するものばかりではなく、身につくものなどの情報提供もあっても良いのではと思う。

出席者 協定内容に関しては、地球温暖化や循環型社会と幅広く書かれているので協定の見直しや変更は必要ないと思う。42年間マイバッグ運動を行っているが、地球温暖化や最近では海洋プラスチックなど様々な環境問題が解決されていないので、マイバッグ運動を前進させた「マイバッグネクスト」という運動を進めている。マイバッグネクストは、「減らす」「増やす」「広める」の3つで進めている。「減らす」活動として、レジ袋の使用を減らしていこうということ、レジ袋の代替えとして、再生プラスチックや生分解性プラスチックに変えていくことという取組みがある。「増やす」取組みとしては、マイバッグを忘れた人の為にエコバッグを貸すレンタルバッグという取組みを行っている。最近では、コロナの影響で人が使用したエコバッグを使うのは抵抗がある人も多いので、家にある使用していないマイバッグや紙袋を提供してもらい、自由に使ってもらうシェアバッグという取組みも行っている。最近では、コロナの影響で「広める」取組みとして、マイバッグ運動を通じてプラスチック削減のイベントに参加するなどもマイバッグ運動の取組みに含めて、広くプラ削減という活動を進めていけたらと考えている。そういった意味でも、レジ袋に特化することなくレジ袋以外にも協議範囲を広げていけたらと考えている。

出席者 今でもレジ袋は売られている。コストは高いと思うが、バイオマスレジ袋以外は売らないようにするなどしないと環境問題は良くなれないと思う。

会 長 ごみ箱にレジ袋が無いと困るという声も聞くが、新聞紙を丸めて水が漏れない様にするやクリーニングの袋(服にかけている袋)を片方結んで利用するなど意識することで変えられることはある。今後も情報やきづき、新たな取り組みなどあれば報告してもらえればと思う。

■ 閉 会

